

令和5年度 評価規準 中小岩小学校 2年生

単元名	春だ 今日から 2年生
配当時数	6 時間

単元の目標		春の身近な自然の観察を通して、夏、秋、冬との違いを見付け、四季の変化や、春を迎えて生活の様子が変わったことに気付いたり、学校の周りをみんなで歩き、地域の安全を守っている人々や施設のことが分かったりするとともに、生活上必要な習慣や技能を身に付け、地域への関心を高めようとすることができるようにする。
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	春の身近な自然の観察を通して、四季の変化や春に合わせて生活の様子が変わること気付いている。
	思考・判断・表現	春の身近な自然の観察を通して、夏、秋、冬の様子と比べ、身近な自然の違いや特徴を見付けている。
	主体的に学習に取り組む態度	春の身近な自然の観察を通して、春の自然や地域の安全を守っている人に親しみ、地域で安全に生活しようとしている。

単元名	大きく なあれ わたしの 野さい
配当時数	9 時間

単元の目標		植物を継続的に栽培する活動を通して、これまでの経験を基に予測しながら、それらの変化や成長の様子に関心をもって働きかけ、植物が生命をもっていることや成長していることに気付くとともに、生活上必要な習慣や技能を身に付け、生き物に親しみをもち、大切にしようとすることができるようにする。
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	植物を継続的に栽培する活動を通して、植物が生命をもっていることや成長していることに気付いている。
	思考・判断・表現	植物を継続的に栽培する活動を通して、植物の変化や成長の様子に関心をもって働きかけている。
	主体的に学習に取り組む態度	植物を継続的に栽培する活動を通して、生き物に親しみをもち、大切にしようとしている。

単元名	どきどき わくわく まちたんけん
配当時数	9 時間

単元の目標		地域のさまざまな場所を訪問したり利用したりする活動を通して、地域の場所と自分の関わりを考え、地域にはさまざまな場所がありさまざまな人がいることに気付くとともに、生活上必要な習慣や技能を身に付け、地域の人々と適切に接したり、安全に気を付けて生活したりしようとすることができるようにする。
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	地域のさまざまな場所を訪問したり利用したりする活動を通して、自分の身近な地域には、さまざまな場所があり、さまざまな人がいることに気付いている。
	思考・判断・表現	地域のさまざまな場所を訪問したり利用したりする活動を通して、身近な地域の場所と自分との関わりについて考えている。
	主体的に学習に取り組む態度	地域のさまざまな場所を訪問したり利用したりする活動を通して、地域の人々と適切に接したり、安全に気を付けて生活したりしようとしている。

単元名	生きもの なかよし 大作せん
配当時数	12 時間

単元の目標		動物を探して捕まえたり、飼育したりする活動を通して、それらの育つ場所、変化や成長の様子に関心をもって働きかけ、それらが成長していることや、自分たちと同じように生命をもっていることなどに気付くとともに、生活上必要な習慣や技能を身に付け、動物への親しみをもって、生き物を大切にしようとすることができるようにする。
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	動物を探して捕まえたり、飼育したりする活動を通して、動物が成長していることや、自分たちと同じように生命をもっていることに気付いている。
	思考・判断・表現	動物を探して捕まえたり、飼育したりする活動を通して、動物の育つ場所、変化や成長の様子に関心をもって働きかけている。
	主体的に学習に取り組む態度	動物を探して捕まえたり、飼育したりする活動を通して、動物への親しみをもって、生き物を大切にしようとしている。

単元名	うごく うごく わたしの おもちゃ
配当時数	12 時間

単元の目標		身近にあるものを使って、動くおもちゃをつくる活動を通して、よりよく動くように改良したり、もっと楽しくなるように遊び方やルールを変えたりなど工夫してつくることができ、遊びの面白さや不思議さに気づき、生活上必要な習慣や技能を身に付け、みんなで楽しみながら遊びを創り出そうとすることができるようにする。
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	身近にあるものを使って、動くおもちゃをつくる活動を通して、遊びやおもちゃをつくる面白さや、自然の不思議さに気付いている。
	思考・判断・表現	身近にあるものを使って、動くおもちゃをつくる活動を通して、おもちゃがよりよく動くように改良したり、もっと楽しくなるように遊び方を変えたりなど、工夫しておもちゃや遊びをつくっている。
	主体的に学習に取り組む態度	身近にあるものを使って、動くおもちゃをつくる活動を通して、みんなで楽しみながら遊びを創り出そうとしている。

単元名	みんなで つかう まちの しせつ
配当時数	6 時間

単元の目標		公共物や公共施設の利用を通して、それらのよさを感じたり働きを捉えたりすることができ、身の回りにはみんなで使うものがあることやそれらを支えている人々がいることなどが分かるとともに、生活上必要な習慣や技能を身に付け、それらを大切にし、正しく完全に利用しようとするようにする。
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	公共物や公共施設の利用を通して、身の回りにはみんなで使うものがあることや、それらを支えている人々がいることに気付くとともに、生活上必要な習慣や技能を身に付けている。
	思考・判断・表現	公共物や公共施設の利用を通して、公共物や公共施設のよさを感じたり、働きを捉えたりしている。
	主体的に学習に取り組む態度	公共物や公共施設の利用を通して、公共物や公共施設を大切にし、正しく、安全に利用しようとしている。

単元名	もっと なかよし まちたんけん
配当時数	12 時間

単元の目標		地域の人々と関わる活動を通して、地域で生活したり、働いたりしている人と自分たちの生活との関わりを考え、自分たちの生活はさまざまな人や場所と関わっていることや、地域の人々が地域に寄せる思いに気付くとともに、生活上必要な習慣や技能を身に付け、地域の人々に親しみや愛着をもち、人々と適切に接したり、安全に生活したりしようとすることができるようにする。
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	地域の人々と関わる活動を通して、自分たちの生活は、地域のさまざまな人や場所と関わっていることや、地域の人々が地域に寄せる思いに気付いている。
	思考・判断・表現	地域の人々と関わる活動を通して、地域で生活したり、働いたりしている人と自分たちの生活との関わりを考えている。
	主体的に学習に取り組む態度	地域の人々と関わる活動を通して、地域の人々に親しみや愛着をもち、人々と適切に接したり、安全に生活したりしようとしている。

単元名	つたわる 広がる わたしの 生活
配当時数	12 時間

単元の目標		自分たちの生活や地域の出来事を身近な人々と伝え合う活動を通して、相手のことを想像したり伝えたいことや伝え方を選んだりすることができ、身近な人々と関わることのよさや楽しさが分かるとともに、生活上必要な習慣や技能を身に付け、進んで触れ合い交流しようとすることができるようにする。
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	自分たちの生活や地域の出来事を身近な人々と伝え合う活動を通して、身近な人々と関わることのよさや楽しさに気付いている。
	思考・判断・表現	自分たちの生活や地域の出来事を身近な人々と伝え合う活動を通して、相手のことを想像したり、伝えたいことや伝え方を選んだりしている。
	主体的に学習に取り組む態度	自分たちの生活や地域の出来事を身近な人々と伝え合う活動を通して、地域の人々に親しみをもち、進んで触れ合い、交流しようとしている。

単元名	あしたへ ジャンプ
配当時数	27 時間

単元の目標		自分の生活や成長を振り返る活動を通して、自分のことや支えてくれた人々について考え、自分でできるようになったことや、役割が増えたことなどに気付くとともに、生活上必要な習慣や技能を身に付け、支えてくれた人々に感謝の気持ちを持ち、これからの学習や生活への願いをもって意欲的に生活しようとすることができるようにする。
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	自分の生活や成長を振り返る活動を通して、自分でできるようになったことや役割が増えたことに気付いている。
	思考・判断・表現	自分の生活や成長を振り返る活動を通して、自分のことや自分の成長を支えてくれた人々について考えている。
	主体的に学習に取り組む態度	自分の生活や成長を振り返る活動を通して、自分の成長を支えてくれた人々に感謝の気持ちを持ち、これからの学習や生活への願いをもって意欲的に生活しようとしている。